

大エジプト博物館・広島大学・JICA 共催**「広島とエジプト 記憶を紡ぎ平和な未来を創る2つのオリエント」シンポジウム****エジプトから建設・修復保存の責任者が来日！**

2023年8月3日(木)、広島大学霞キャンパス応仁会館大会議室において、広島大学、エジプト・ギザの大エジプト博物館、国際協力機構（JICA）の共催にて、シンポジウム「広島とエジプト 記憶を紡ぎ平和な未来を創る2つのオリエント」を開催します。

本シンポジウムは、エジプトとの関係が深い広島大学の越智学長とエジプト元考古大臣の「ツタンカーメンと古代の病」についての対談や、元エジプト高等教育・科学研究大臣による最新のピラミッド調査に関する発表、大エジプト博物館の責任者による大エジプト博物館の紹介など見どころ満載です。

特に、エジプト・ギザで開館準備を進めている大エジプト博物館については、現在、博物館プロジェクトの総責任者を務めるアーテフ・ムフターフ氏および保存修復執行部門長アイーサ・ジダン氏を招へいし、「大エジプト博物館のいま ファラオの至宝をまもる」と題して、博物館の準備状況についてお伝えする貴重な機会となっております。

大エジプト博物館は、展示面積が5万平方メートル、収蔵品は10万点を超え、単一文明を扱う博物館として世界最大級となります。展示品には5000点を超えるツタンカーメン・コレクションやクフ王のピラミッド脇に埋蔵されていた2艘の船、通称「クフ王の船」等、数多くの貴重な遺物の収蔵が予定されており、世界有数の博物館になると言われています。日本政府は大エジプト博物館建設に向け2006年から博物館建設に関する支援を行い、建物の建設だけでなく、文化遺産の保存修復に関する技術協力等を通じて現地の人材育成にも関わってきました。本シンポジウムでは日本の支援が大エジプト博物館の開設にどのように関わってきたかについてもお伝え致します。ぜひ、ご参加ください。

今イベントの開演前には記者会見を開催し概要説明および講演者のフォトセッションを実施いたします。（写真撮影・取材可能）。また、シンポジウム終了後に囲み取材を受け付けます。参加・取材ご希望の場合は、別紙をご記入のうえ8/2正午までに最下部に記載の【本件に関する問い合わせ先】までご提出ください。

日時：2023年8月3日（木） 13:00～15:25（開場 12:30）

場所：広島大学霞キャンパス応仁会館大会議室

主催：広島大学、大エジプト博物館、国際協力機構（JICA）

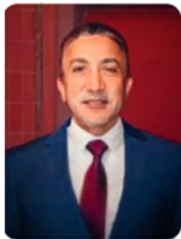
後援：広島市、公益財団法人広島平和文化センター、エジプト・アラブ共和国大使館

言語：日本語（英語・アラビア語から日本語への通訳あり）

参加費：無料

詳細：<https://forms.office.com/r/Zd71kP3j2G>

12:20-12:40	メディア向け記者会見（写真撮影・登壇者取材可）
12:30	開場
13:00	開会
13:00-13:15	歌唱 オペラ歌手、広島大学客員教授 中丸三千繪氏（2018年エジプト、カイロオペラハウスにて歌劇「アイーダ」に出演）
13:25-13:35	開会の辞 広島大学長 越智光夫氏 ビデオメッセージ 広島市長 松井一實氏
13:35-13:55	対談「ツタンカーメンと古代の病」 マムドーハ エルダマテイ博士（アインシャムス大学、エジプト考古学者（元エジプト考古大臣））、広島大学長 越智光夫氏（広島大学、医学博士）
14:10-14:40	「世紀の大発見-スキャンされたピラミッド-」 ハニー ヒラル博士（カイロ大学工学部教授、Scan Pyramids Project コーディネーター、元エジプト高等教育・科学研究大臣）
14:40-15:25	「大エジプト博物館のいま！ファラオの至宝をまもる2023」 大エジプト博物館プロジェクトおよび周辺地域総責任者アーテフ ムフターフ氏、大エジプト博物館保存修復執行部門長アイーサ・ジダン博士
15:25-15:35	囲み取材



アーテフ・ムフターフ（大エジプト博物館プロジェクトおよび周辺地域総責任者）

エジプト大統領より任命され 2016 年より現職。博物館建設の総責任者として建設の加速化を主導、事業を完成目前まで導いた。博物館周辺地域を新しい観光の首都にするエジプト政府のビジョンの下、大エジプト博物館をとり巻くギザ周辺地域事業の開発責任者としても指揮をとっている。



アイーサ・ジダン（大エジプト博物館保存修復執行部門長）

2007年から大エジプト博物館保存修復センター設立に携わって以来、同センターにて大エジプト博物館に移送する文化財の応急処置・梱包移送部長として従事。クフ王第1の船の移送をギザ台地から実現するなど、移送が困難を極めるといわれていた文化財の大エジプト博物館の移送を成功に導いている。2008年よりクフ王第2の船発掘・修復/展示プロジェクトの保存修復スーパーバイザーも兼任している。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中国 総務課（担当：東（あずま））

TEL：082-421-6300 E-mail：cictad@jica.go.jp

* 講演出席、記者会見参加/囲み取材希望の方は、別紙フォームを記入のうえ、上記メールアドレスに

8/2 正午までにご提出をお願いします。

(別紙)

【メール返信用紙】 JICA 中国センター行 cictad@jica.go.jp

**広島大学 75+75 周年記念事業（広島とエジプトの絆） シンポジウム
「広島とエジプト -記憶を紡ぎ平和な未来を創る2つのオリエント」取材申込書**

日時：令和5年8月3日（木）13時～15時25分

場所：広島大学 霞キャンパス 広仁会館 大会議室（広島市南区霞一丁目2番3号）

以下参加ご希望される内容のにチェックを入れてください。

- 記者会見 12:20-12:40
- 対談・講演 13:00-15:25
- 囲み取材 15:25-15:35

貴社名：

部署名：

ご芳名：

(計 人)

電話番号：

※ 誠に恐れ入りますが、取材ご希望の場合には、上記にご記入頂き、8月2日（水）正午までに JICA 中国センター（cictad@jica.go.jp）宛にご連絡ください。